

平成30年3月15日

意見表明

日本維新の会神戸市会議員団

日本維新の会神戸市会議員団は、平成30年度神戸市各会計予算並びに関連議案、合計59議案について、以下の理由により、要望13件を付して承認致します。

また、「予算第1号議案平成30年度神戸市一般会計予算」等の編成替えを求める動議に関しては、反対いたします。

理由

本市は昨年の神戸開港150年が契機になり、神戸港の取り扱い貨物量も回復しつつあります。また、震災後23年を経て、遅れていた課題に対してもようやく取り組むことができ、新しいステージへと踏み出すことができるようになりました。

この点、平成30年度予算では、人口減少社会の進展に歯止めをかけることを目標にした、若者に選ばれるまち、誰もが活躍するまちをめざした「神戸2020ビジョン」に掲げる施策をはじめ、これまでの取り組みを踏まえつつ、総合性を発揮し、あらゆる施策にバランスよく取り組んでいく予算編成は一定の評価を致します。

また、少子化対策や若者に選ばれるまちづくりの観点から、子育てしやすい環境の整備と待機児童の解消強化に向けた取り組みとともに、妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援として、特に子育て世帯の経済的負担を軽減した取り組みや、学校教育においては、県費負担教職員制度の権限移譲により、教員がこれまで以上に児童に向き合えるよう、教員多忙化対策に注力されています。

一方、限られた財源のなかで、やめる勇気を持って事務事業の見直しを積極的に行ったことなど既存事業の見直しにも取り組んでおります。

以上のことから、本市が抱える喫緊の課題である人口減少問題に取り組んだ期待の持てる予算であると考えられるため、平成30年度各会計予算案並びに関連議案を承認します。

要望事項

1. 補助金の支出に際して、公平性・透明性を担保して適正支出に取り組み、行財政局で一元管理を徹底して頂きたい。
2. 中学3年生までの医療費無料化に取り組んでももらいたい。
3. 小規模保育所の神戸市独自の財政支援の検討に取り組んでももらいたい。
4. 高校までの授業料完全無償を目指し取り組んでももらいたい。
5. まちの賑わいづくりに関して、三宮に一極集中しないように全市的に取り組んでももらいたい。
6. 都市空間向上計画については、市民の皆さん等の意見を聞きながらスピーディーに策定していただきたい。また、市民にとって公共交通は重要な要素の1つであるため、多様な交通の取り組みを行うこと。
7. 国、県、関係機関と連携のうえ、再犯防止計画を策定していただきたい。
8. 神戸空港民営化や医療産業都市の状況などから、ポータルライナーの混雑緩和にむけた対策を早急に取り組んでももらいたい。
9. 市民救命士の知識・技能維持のための再講習受講の周知は徹底して行ってもらいたい。
10. 待機児童解消のため、保育所の設置場所として積極的に都市公園の活用を推進すること。また、PMO事業による都市公園の活性化に取り組んでももらいたい。
 11. 市営地下鉄西神の手線と阪急の相互乗り入れを早期に実現すること。
 12. 都心・三宮再整備 行政施設移転については、民間活力を利用し協働して進めること。また、交通、景観、区役所、ホール等施設配置には市民意見を十分に考慮し慎重に検討すること。
 13. 県市協調を推進して、二重行政解消に取り組むこと。